

- 問1 地球上の存在量が少ない、あるいは技術的・経済的な理由で抽出が困難であるため流通量が少なく、スマートフォンなどの電子機器の製造に不可欠となっている「コバルト」などの金属の総称を何というか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
1. レアメタル 2. 非鉄金属 3. 貴金属 4. 軽金属
- 問2 アフリカやラテンアメリカの国々の中には、コーヒー豆や特定の鉱産資源など、限られた品目の輸出が国内経済に占める役割が非常に大きい国が見られます。このような、特定の一次産品の輸出に強く依存している経済構造を何と呼びますか。その名称と特徴として正しいものを選びなさい。 (2026年 岡山県公立入試 類似)
1. 特定の輸出品目の割合が非常に高く、経済的依存が強いモノカルチャー経済 2. 多くの種類の工業製品をバランスよく輸出し、価格変動のリスクを分散させた多角化経済 3. 国内の消費を自国の生産で全てまかない、輸出入を制限する自給自足経済 4. 原料を輸入し工業製品を輸出することで、高度な技術力を活かす加工貿易
- 問3 北アフリカに位置するアルジェリアでは、都市の景観にイスラム風の様式とフランスの影響が共存しています。このような景観が成立した歴史的背景と、独立後の経済発展を支えた資源の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. イギリスの植民地支配を受けた歴史があり、石炭や鉄鉱石を活用している。 2. イタリアの植民地支配を受けた歴史があり、希少金属（レアメタル）を活用している。 3. フランスの植民地支配を受けた歴史があり、天然ガスや石油を活用している。 4. スペインの植民地支配を受けた歴史があり、銅やリチウムを活用している。
- 問4 アフリカ大陸で見られる、緯線や経線を利用して人工的に引かれた直線的な国境線は、独立後のアフリカ諸国においてどのような問題を引き起こす要因となりましたか。最も適切な説明を選択してください。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
1. 国境が直線であるために、山脈や河川などの自然資源を共有することができず、農業開発や水資源の確保が困難になった。 2. 地形に関わらず国境が設定された結果、隣国との交通網の整備が容易になりすぎ、特定の国への人口集中が加速する原因となった。 3. 国境線の位置が明確になりすぎたため、かえって民族間の交流が途絶え、アフリカ大陸全体の経済統合が全く進まなくなる要因となった。 4. 同じ言語や習慣を持つ民族が複数の国に分断されたり、対立する民族が一つの国内に共存したりすることになり、地域紛争や内戦の原因となった。
- 問5 サハラ砂漠以南のアフリカにおいて、2008年から2016年にかけて、米の生産量が約1425万トンから約3263万トンへと倍増しました。この生産量増大の主な要因として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
1. 農作物の輸出を制限し、国内向けの生産を縮小させることで、統計上の生産効率を向上させたこと。 2. 米の需要が減少したため、栽培面積を縮小させて高付加価値な商品作物の栽培に転換したこと。 3. 栽培面積は減少したものの、飛躍的な技術革新によって単位面積あたりの収穫量のみが大幅に増えたこと。 4. 品種改良などによる単位面積あたりの収穫量の向上に加え、栽培面積が大幅に拡大したこと。
- 問6 世界の実業発生状況に関する統計において、2011年には237件もの発生が確認されていたものの、翌2012年には75件へと激減し、世界全体の発生件数の減少に最も大きく寄与した海域はどこですか。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
1. カリブ海周辺海域 2. ギニア湾周辺海域 3. マラッカ・シンガポール海峡 4. ソマリア周辺海域
- 問7 アフリカ大陸西部のギニア湾に面した位置にあり、アフリカ有数の原油生産量を誇る国があります。この国が資源輸出で得た利益を背景に進めている取り組みとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)
1. 豊富なダイヤモンド資源の輸出を唯一の国家財源とする経済構造 2. 広大な土地を利用したカカオのモノカルチャー経済の維持 3. 沿岸部に経済特区を設けて外国企業の工場を積極的に誘致する政策 4. 原油の輸出利益を活用した国土開発や工業化
- 問8 ある統計資料によると、アジアでは人口約4億3400万人に対して約13億3500万トンの穀物を生産し、ヨーロッパでは約7400万人の人口に対して約5億1100万トンの穀物を生産しています。これに対し、人口約1億1400万人に対して穀物生産量が約1億8900万トンにとどまり、他の地域と比較して「一人あたりの穀物生産量」が著しく低く、食料不足が深刻な課題となっている地域はどこですか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
1. 南アメリカ 2. アフリカ 3. オセアニア 4. 北アメリカ
- 問9 南アフリカ共和国の社会的な特徴について述べた文として、宗教的・歴史的な背景から判断して最も適切なものを、次のうちから選びなさい。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
1. 伝統的な宗教を守り続けている人々が圧倒的に多く、キリスト教徒が占める割合は人口の5割を下回っている。 2. アラブとの交易が盛んだった歴史から、北アフリカ諸国と同様にイスラム教徒が人口の大部分を占めている。 3. インドからの移民が多く流入したため、キリスト教よりもヒンドウ教を信仰する層の方が人口比で上回っている。 4. オランダやイギリスといったヨーロッパ諸国による植民地支配などの歴史的背景により、人口の過半数がキリスト教徒である。
- 問10 ナイジェリアは1991年に首都を、かつての首都である沿岸部のラゴスから内陸のアブジャへと移転しました。アブジャが新たな首都として選ばれた理由として、人口の過密化を解消すること以外に、どのような政治的な目的がありましたか。 (2022年 岩手県公立入試 類似)
1. 石油資源の豊富な南部の沿岸地域からあえて離れることで、農業中心の国家へと経済構造を転換するため。 2. 砂漠化が進行するサハラ砂漠周辺の住民を定住させ、環境保護に向けた新たな行政拠点を作るため。 3. 特定の主要民族の居住地ではない中立な場所に首都を置くことで、民族間の争いを抑制するため。 4. 旧宗主国であるイギリスとの経済的なつながりを強化し、貿易の拠点としての機能を高めるため。
- 問11 日本が主導して開催しているアフリカ開発会議（TICAD）において、近年の議論の焦点となっているアフリカとの協力のあり方について、正しい説明を選択してください。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
1. 経済発展よりも、伝統的な自給的農業の形態を維持させるための技術指導に限定する 2. 工業化による環境破壊を防ぐため、他州からの工業製品の輸入を全面的に禁止するよう求める 3. アフリカの経済成長を後押しするため、民間企業による投資やビジネスの活性化を重視する 4. アフリカ諸国の債務をすべて肩代わりし、対等な貿易関係を解消して一方的な援助に切り替える
- 問12 ケニアやエチオピアなどの東アフリカ高地で見られる、特定の農産物を大規模に生産し、主に先進国などに販売することを目的とした農業の性質を何と呼びますか。 (2022年 三重県公立入試 類似)
1. 自給用作物の栽培 2. オアシス農業 3. 地中海式農業 4. 商品作物の栽培

答え合わせ・解説

問1	答え 1 レアメタル	現代のハイテク産業において、電子機器や電気自動車のバッテリーなどに欠かせない希少な金属はレアメタル（希少金属）と呼ばれます。埋蔵量が限られているだけでなく、特定の国や地域に産出が偏っているため、供給の安定が国際的な課題となっています。
問2	答え 1 特定の輸出品目の割合が非常に高く、経済的依存が強いモノカルチャー経済	特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼る経済構造を「モノカルチャー経済」と呼びます。低緯度帯に位置する発展途上国によく見られ、輸出総額における特定の品目の割合が極端に高いことが特徴です。これにより、国際価格の変動がその国の経済全体を左右することになります。
問3	答え 3 フランスの植民地支配を受けた歴史があり、天然ガスや石油を活用している。	アルジェリアは19世紀から1962年の独立までフランスの植民地であったため、建築や言語においてフランスの影響を強く受けています。それ以前からのイスラム文化と融合した独特の景観はこの歴史を反映したものです。経済面では、独立後にエネルギー資源の国有化を進め、豊富な天然ガスや石油を主な輸出品とすることで、国営企業を主軸とした経済成長を目指しました。
問4	答え 4 同じ言語や習慣を持つ民族が複数の国に分断されたり、対立する民族が一つの国内に共存したりすることになり、地域紛争や内戦の原因となった。	ヨーロッパ諸国によって引かれた人為的な国境線は、そこに住む人々の文化や民族的なつながりを考慮していませんでした。その結果、本来一つのコミュニティであった民族が国境によって分断されたり、逆に歴史的に敵対関係にあった民族が同じ国家の中に組み込まれたりしました。これが火種となり、独立後も国家の統合が難しく、各地で深刻な内戦や国境をめぐる紛争が繰り返される大きな要因の一つとなっています。
問5	答え 4 品種改良などによる単位面積あたりの収穫量の向上に加え、栽培面積が大幅に拡大したこと。	サハラ砂漠以南のアフリカで実施された稲作振興計画（CARD）では、米の生産量が短期間で倍増しました。この飛躍的な増加は、農業技術の普及による単位面積あたりの収穫量の向上も寄与していますが、それ以上に栽培面積自体が大きく拡大したことが決定的な要因となっています。統計資料からも、生産量の伸びと栽培面積の拡大が連動していることが読み取れます。
問6	答え 4 ソマリア周辺海域	2011年から2012年にかけて、多国籍軍による護衛活動や日本を含む各国による哨戒活動の強化、さらには商船側による自衛策の徹底が行われました。その結果、統計上の数値が237件から75件へと大幅に減少しました。この海域はアデン湾などの主要な航路を含んでいるため、国際物流の安定において極めて重要な変化となりました。
問7	答え 4 原油の輸出利益を活用した国土開発や工業化	ナイジェリアはギニア湾沿岸に位置し、アフリカ最大の人口を抱えるとともに、世界的な産油国として知られています。かつては特定の農産物などに依存するモノカルチャー経済の側面が強かったものの、現在は豊富な原油の輸出によって得られる利益を、道路や電力といったインフラの整備や、国内の工業を育てるための「国土開発」に充てている点が大きな特徴です。
問8	答え 2 アフリカ	アジアやヨーロッパといった他の地域では、人口の規模に対して穀物生産量が大きく、一人あたりの供給量にある程度の余裕があります。しかし、アフリカでは人口に対する穀物生産の割合が他地域よりも低いため、一人あたりの穀物生産量が極めて少ない状況にあります。この背景には、急激な人口増加に農業技術の普及や生産基盤の整備が追いついていないという課題があり、干ばつなどの自然災害が発生した際に深刻な食料不足や飢饉につながりやすいという地域的特徴があります。
問9	答え 4 オランダやイギリスといったヨーロッパ諸国による植民地支配などの歴史的背景により、人口の過半数がキリスト教徒である。	南アフリカ共和国の宗教構成は、プロテスタント（36.6%）やカトリック（7.1%）などを合わせると、キリスト教徒が人口の約8割に達します。これは大航海時代以降のオランダやイギリスによる入植、および宣教師による活動が強く影響した結果です。アフリカ全土で見ると、北部はイスラム教、南部はキリスト教の傾向が強いという地理的特徴を理解しておくことが重要です。
問10	答え 3 特定の主要民族の居住地ではない中立な場所に首都を置くことで、民族間の争いを抑制するため。	ナイジェリアは1960年の独立後、複数の民族が対立して激しい内戦（ビアフラ戦争）を経験した歴史があります。旧首都のラゴスは特定の主要民族の居住域の端に位置していたため、他民族からの反発を招きやすい状況にありました。そこで、国土のほぼ中央に位置し、かつ特定の主要民族の居住地ではない地域に新首都を建設することで、政治的中立性を保ち、国内の民族間の争いを抑制する狙いがありました。
問11	答え 3 アフリカの経済成長を後押しするため、民間企業による投資やビジネスの活性化を重視する	かつてのアフリカ支援は、貧困対策や医療・教育などの「援助（ODA）」が中心でしたが、近年のアフリカ開発会議では、アフリカの自律的な経済成長を支えるために、日本企業の進出や現地企業との連携といった「民間投資」が重視されるようになっていきます。これは、アフリカが経済的なパートナーとしての重要性を増していることを示しています。
問12	答え 4 商品作物の栽培	自分たちが消費することを目的とした「自給用作物」の栽培に対し、茶や切り花、コーヒーのように、市場での販売や輸出を目的として栽培される作物を「商品作物（輸出用作物）」と呼びます。東アフリカの高地農業は、航空便などの輸送インフラと結びつき、世界市場をターゲットにした近代的な経営が行われている点が大きな特徴です。